

2014年11月25日

ソウル市立大学学術交流報告書

県立広島大学大学院 総合学術研究科 経営情報学専攻

学籍番号 1422003

下野 智也

事業内容

2015年度においてソウル市立大学との教員・学生による学術・教育交流会(11月12日(木)・13(金)・14(土))に引率の教員2名及び、学生8名がソウル市立大学を訪問し、両校の学生による研究成果を発表しあう研究交流会を行いました。また、ソウル市立大学の学生と交流を深め、韓国の文化にも触れました。



11月12日(木)

● 移動

まず広島空港から仁川国際空港への移動をしました。予定ではおおよそ1時間10分程で到着する予定でしたが、今回2時間程かかってしまいました。なぜ時間がかかってしまったかという韓国ではその日、日本のセンター試験にあたる大学修学能力試験があり、その影響で飛行機が空中で待機せざるを得ませんでした。広島空港でたまたま大学修学試験が行われているといったニュースは見えていたのですが、まさかそのことが私自身に影響を与えるとは非常に驚きました。

仁川国際空港に到着し周囲に書かれているハングル文字や、右側通行の道路を見て韓国に来たのだと実感しました。ソウル市内は私が想像していたよりも交通量が多く、バスでソウル市立大学迄移動したのですが、そこでも予定より時間がかかってしまい実際に到着した時には日ももう落ちかけていました。

● 観光・食事

予定より時間がかかってしまった為、観光はあまり出来ませんでした。ソウル市立大学の学生の案内のもと食事に向かうまでの間ソウルの町中を歩き町並みなどを見学する事が

육자료실, 건축설계실, 강의실, 디지털모
수연구실-이강근, 현장택, 권
목공학과, 구조진동연구실,
로파괴연구실, 강의실, 피로파
수연구실-임성순, 이창수, 조용
축설계실, 건축설비실험실,
물에너지환경실험실, 건축공학
수연구실-김명준, 한상원, 김소
범역학실, 토
경수리학연구실, 3D시물레이션랩
소재료실험실, 첨단기기분석실

韓国の案内板(ハングル文字)

出来ました。地下鉄に乗るための切符販売機では日本語の画面が用意されハングル文字が全く読めない私でも問題なく切符を購入することが出来ました。食事はバイキング形式で日本ではあまり見たことのない料理もありましたが口に合い非常においしく頂きました。しかしいくつかは辛い料理もあり途中で汗が噴き出したりもしました。韓国では食事の際、お皿を持つ習慣がないのですがなかなか私は慣れず、つい持っけてしまいそうになり、国によって考え方が全く違うのだと感じました。

11月13日(金)

● 発表準備・発表

2日目は朝から発表準備を行いました。パワーポイント及び発表原稿の確認を行いました。その後会場に移動し学術交流会が始まりました。今回が県立広島大学とソウル市立大学との学術交流会は2回目という事で今後交流がさらに深いものになる為に頑張らなければならないと思身が引き締められました。

今回の学術交流会は主に経営学を専攻する学生を対象にしたものでしたので私の専攻とは多少違い、非常に新鮮な気持ちで発表を聞くことが出来ました。今回私の発表が「音声信号に対する雑音抑制について」だったのですが、文系の学生には多少難しい部分があったのですがやろうとしていることは伝わったのではないかと思います。

発表において私はソウル市立大学の学生が発表に対して積極的に質問を行うことに対して非常に驚きました。更に質問だけで終わらず、討論が行われていること姿を見てそもそもの発表会に対する姿勢が違ふと感じ、学ぶべき姿勢だと思いました。更にソウル市立大学の学生の発表における英語のレベルに非常に驚きました。今回の発表はすべて英語による発表だったのですが韓国の学生と私とを比較すると語彙力、発音などすべてにおいて私は劣っているなと感じました。英語教育は小学校から行われては来たのですが現状身につけていないことを考えると私自身の意識として英語がこれまで必要なかったから勉強してこなかった部分があり、意識の向上にとても良いきっかけになりました。

● 歓迎会

研究発表会の後は、私たちの歓迎会をして頂きました。プルコギを食べながらソウル市立大学の学生と交流を深めました。但し多くの方が日本語を理解できないばかりの為英語でコミュニケーションをとることとなりました。私自身英語があまり得意ではなく伝え

発表風景



たいことが伝えられない、彼らの言いたいことがうまく聞き取れないといった非常にもやもやとした気持ちになるときもありましたが、つたない英語ではありましたが徐々に出てきた料理について、韓国について、日本について等といった様々な事を話すことが出来、楽しく交流を行うことが出来ました。

11月14日(土)

● 観光

3日目は観光を行いました。2日目から雨が降っており前日の段階では観光が行えるかどうか分かりませんでした。幸いなことに朝には小雨になり観光を行うことが出来ました。最初にソウル駅に地下鉄で移動をしました。その道中車内で若者が老人に席を譲るといった場面に遭遇しました。何の迷いもなく席を譲る若者を見てこういう部分は日本人も見習わなければならないと思いました。

ソウル駅で出国手続きなどを行い、その後歴史的な名所として南大門や大漢門などを訪れました。私は韓国についてもともとあまり知識がなく南大門とは聞いたことはありましたがこんなに町中にあるのには驚きました。残念だったことはその日ソウルでデモが行われるため街の雰囲気は厳戒態勢でありデモに会わないように早めに観光を切り上げなければなかったのは残念でした。

歓迎会で振る舞われたプルコギ



旧ソウル駅



南大門

その後 LOTTE Mart でお土産等の買い物や昼食をとりました。LOTTE Mart ではソウル駅から近いこともあり私たちのほかにも日本人観光客の姿を見ることができ店員も日本語で話しかけてきたりしました。LOTTE Mart は大型スーパーの様な場所で日本とはあまり大きな違いはないように感じました。しかしレジのシステムであったり売っているものであったり、違う部分もありました。昼食に冷麺を頂きました。日本で食べる冷麺と比較して大量のコチュジャンが乗っており口の中が痛くなり若

干涙も出ましたがおいしくいただきました。

小雨でしたが天候に恵まれず、更にデモもありもう少し韓国を観光したかったという気持ちが正直なところ。またぜひ機会があれば様々は場所に行ってみたく強く感じました。

総評

私は今まで学部生時代の卒業旅行で行ったグアムしか海外にいった事がなく、異文化に触れる機会がなかなかありませんでした。今回学術交流会に参加するにあたって、異文化に触れることにより私自身の見識がさらに広がるのではと思い、参加を決意しました。

現在日韓の関係はあまり良いものではない現状があります。両国間の歴史問題を紐解くと一概に解決しがたい問題を多く抱えています。私もニュースや様々な情報によって良いイメージよりも悪いイメージの方が先行していたのは事実です。しかし実際に触れあってみたソウル市立大学の学生たちは本当に親切でした。実際に話をしてみると日本の文化を尊敬し更により部分を学ぼうとしている姿勢を感じました。私たちは先入観によってその先を見ないといった事を行うことがあります。実際に今回学術交流会に参加しなければ韓国に悪いイメージのままだったかもしれません。

ソウル市立大学の学生と

事実として日本の事を嫌っている韓国人はゼロではありませんがそういった方々だけをみてすべてを判断してはいけないと感じました。

更にソウル市立大学の学生の研究に対する姿勢などを肌で感じ私自身ももっともっと力を入れて研究を行っていかなければならないと感じ非常に良い経験となりました。

最後に今回の発表に際し、ご指導いただいた生田教授並びに引率していただいた朴准教授、広谷准教授に深謝の意を表します。



第二回ソウル市立大学県立広島大学学術交流会の報告書

(平成 27 年 11 月 12 日～平成 27 年 11 月 14 日)

経営情報学部経営学科 川本茉莉、赤木泰人、西田英里香、下崎咲

1. はじめに

我々は、2015 年 11 月 12 日から 11 月 14 日までの 3 日間ソウルへ行きました。交流会での発表やソウル市立大学生との交流、文化交流等を行い、学んだことを報告します。

2. 日程

1 日目	午前	広島空港発、仁川国際空港着
	午後	ソウル市立大学到着、仁寺洞(インサドン)観光 ソウル市立大学生と交流・夕食
2 日目	午前	発表準備
	午後	ソウル市立大学・県立広島大学研究発表会、歓迎会
3 日目	午前	ソウル市立大学食堂にて朝食、ソウル市内を散策
	午後	仁川国際空港発、広島空港着

3. 1 日目

仁寺洞(インサドン)観光

初日はソウルの鐘路(シヨウロ)区にある仁寺洞という街を訪れました。仁寺洞は韓国の様々な食文化や芸術文化を知ることのできる、ソウル市内でも極めて人気の高い観光地です。私たちはソウル市立大学の学生の案内のもと、メインストリートを散策しました。

平日にも関わらず、通りは多くの人や屋台で賑わっており、私たちはバイキング形式の韓国料理店へ行きました。キムチやホットックなど韓国ならではの料理やデザートを楽しみました。また、韓国でのご飯の食べ方などソウル市立大学の学生に、正しい食べ方を教えてもらい、また、お互いの国の文化や言語について質問し合うなど、とても有意義な交流の時間となりました。

また、今回私たちが訪れたほぼすべての店に外国語表記の案内があり、日本語に堪能な店員の方も多かったことから、仁寺洞という街が外国人観光客にとっていかに人気で観光しやすい街であるかを実感することができました。

宿泊(寮)

私たちは、ソウル市立大学の寮へ泊まりました。寮は大変きれいで設備も整っており不自由なく生活することができました。また、寮の中にはさまざまな国籍の学生が滞在しており、建物一階にあるラウンジでは、生徒による交流がさかんに行われており、にぎやかな雰囲気でした。

4. 二日目

(1) 学内散策

二日目にはソウル市立大学の敷地内を散策しました。敷地内は大変広く、全てを見ることはできなかったものの、自然豊かなキャンパスの雰囲気を味わうことができました。また、学内の広場には学生以外に市民(子どもや高齢者など)もおり、地域に開かれた場なのだと感じられました。学内の建物には「第二回ソウル市立大学, 県立広島大学 学術交流会」と書かれた横断幕が掲げられており、歓迎していただいていることを実感しました。



(3) 発表準備

発表準備では、パワーポイントや原稿の最終確認を行いました。特に、原稿の確認を主にしました。英語でプレゼンテーションをするという機会はなかなかなく、また、私たちにとっても、ソウル市立大学の生徒にとっても、英語は母国語ではないので、不安を感じ、発表前はとて



も緊張していました。

(4) 交流会

交流会では、ソウル市立大学と県立広島大学の生徒が交互に発表しました。私たちの発表は、4番目でした。ソウル市立大学の生徒は英語が堪能で、質疑応答のときは母国語で話して良いようになっていましたが、英語で話す方もいて、とても驚きました。



また、それと同時にもっと英語を話すことができるよう努力する必要があると感じました。また、パワーポイントのレイアウトに関しても、ソウル市立大学の生徒は、一から作成しているようで、今後のプレゼンテーションで見習いたいと感じました。

私たちは「the corporate value analysis of convenience stores」についての発表を行いました。その内容は日本のコンビニエンスストア業界の業界分析が主です。統計学などを用いているため、専門的な用語も多く英語での発表はすこし難しかったですが、緊張も徐々にほぐれ、自分たちのペースで話すことができました。

他国の生徒と、英語でプレゼンテーションをしあう機会はなかなかないので、とても良い経験となりました。また、ソウル市立大学生の方の発表を聞き、大変刺激を受け、より一層勉強していく必要があると肌で感じました。

(2) 歓迎会

研究発表会の後は、私たちの歓迎会をしていただきました。韓国の名物料理ブルコギを食べながら、ソウル市立大学の学生との交流を行いました。この歓迎会では、お互いの国の食文化や伝統文化、言語などについて話したり、日本に訪れたことのある学生に日本の印象を聞いたりすることによって、異文化理解を深めることができましたと思います。

歓迎会では英語で会話をしましたが、ソウル市立大学の生徒は、英語が堪能で、また、日本語も上手いため、私たちの質問などにも丁寧に答えてくれました。そのた

め、問題なくコミュニケーションをとることができ、楽しみながら韓国について、また韓国から見た日本について知ることができました。

5. 3 日目

(1) LOTTE Mart

三日目はまず、LOTTE Mart で買い物をしました。LOTTE Mart とは、韓国の大型ディスカウントストアです。明洞や南大門といった観光地が周辺にあること、また交通の要所であるソウル駅から近いこともあり日本人を含め、外国人観光客の姿も多く見られました。店内には大きな荷物や紙袋を持って入ることが出来ないため、ロッカーや顧客センターで荷物を預けないといけないことや、一つ買うともう一つ同じものがついてくるといった「1+1」の商品が置いてあることなど日本ではあまり見られないシステムが見られ印象に残りました。買い物一つをとって見ても韓国と日本の違いは多く韓国の文化を知ることが出来たように感じます。

(2) ソウル駅から光化門にかけて散策

午後はソウル駅から光化門にかけての道を 40 分ほどかけて散策しました。旧ソウル駅や南大門といった歴史的建造物や、ハングルを作ったとされる世宗大王や韓国の英雄である李舜臣などの銅像を目にすることが出来ました。中でも大漢門の前で見ることのできた兵士たちの勤務交代式の再現は圧巻でした。日本古来の伝統文化と同様、韓国の伝統的な文化に触れることができ、大変いい経験になりました。短い時間で、狭い範囲の見学ではあったものの多くの韓国の文化に触れることが出来、実に充実した時間となりました。



6. 感想

今回のソウル市立大学への学術交流は大変いい経験になりました。まず、私たちの母国語は違うため英語で話す必要があり、それに合わせたプレゼンテーションを行う必要があったため、普段より大変時間がかかりました。しかし、貴重な経験であるため全員で一生懸命取り組みました。また、韓国の学生の堪能な語学力や、プレゼンテーション力などを真に受けて、自分たちもより一層精進する必要があると刺激を受け

ました。発表において英語がうまく伝わっていない点もあったかもしれませんが、このような今回の反省点を今後に活かしていきたいです。

また、韓国の文化体験や学生との交流で韓国のことをより知ることができました。韓国という異国について、理解を深めるきっかけとなった、このような貴重な機会を与えてくださった皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

第2回 ソウル市立大学・県立広島大学 学術交流会の報告書

(2015年11月12日～2015年11月14日)



経営情報学部 経営学科

1303022 川西 千春

1303057 見影 大地

1303060 持田 沙紀

I. はじめに

私たちは、韓国の提携校であるソウル市立大学で行われる学術・教育交流会に参加するため、2015年11月12日(木)～14日(土)の3日間、ソウルへ訪れました。

今回は、研究成果の発表の様子や、ソウル市立大学生との交流、韓国文化の体験等を通して学んだことを報告します。最後は、個人の振り返りをまとめとします。

II. 日程

11/12 (木)	午前	広島空港集合 (9:30) 広島空港発 (12:05)⇔仁川国際空港着 (13:45)
	午後	ソウル市立大学到着 ソウル市内で夕食・観光
11/13 (金)	午前	発表準備 (10:00～)
	午後	学生街にて昼食 ソウル市立大学・県立広島大学 学術・教育交流会 (15:30～17:30) ソウル市立大学主催による歓迎パーティー
11/14 (土)	午前	ソウル市立大学出発 (10:00) ソウル市内観光
	午後	仁川国際空港発 (17:10)⇔福岡空港着 (18:25) 移動し、博多駅→広島駅 (21:02着)

Ⅲ. 1 日目

i) 出国

広島空港で出国手続き等を終えてからは多少の空き時間があったので、その時間を活用し、各チームで発表に関する簡単な確認や、原稿の読み合わせを行いました。

また、韓国の観光地やマナーを教えてもらい、発表以外の時間をどのように使うか皆で楽しく話しました。



ii) ソウル市内観光

午後にソウル市立大学に無事に到着し、今回通訳として学術交流会を手助けして下さるソウル市立大学の学生と挨拶を交わした後、鍾路（チョンノ）区の仁寺洞（インサドン）という街へ移動し、夕食をとりました。夕食はビュッフェ形式で、キムチやチヂミなどの韓国料理も堪能することが出来ました。

夕食後は、ソウル市立大学の学生と県立広島大学の学生で、仁寺洞のメインストリートを1時間程度観光しました。サムジキルという仁寺洞の名所としても有名なショッピングモールを見て回った後、各々の目的の場所へソウル市立大学の学生に案内してもらいました。韓国の伝統衣装であるチマチョゴリを、現代の流行に合わせてアレンジして販売しているお店や、恋人たちの誓いが書かれたキーホルダーが壁一面に広がるデートスポットなど、私たちが知らなかったものにたくさん触れることが出来たと思います。

その際、何軒かのお店では、日本語や英語で接客や呼び込みを行っており、韓国人の接客レベルの高さに驚くとともに、非常に外国人が観光しやすい環境であると感じました。また、ソウル市立大学の学生とは、韓国の文化や各所の説明だけではなく、おススメのお店や好きなものについてもコミュニケーションをとることができ、大変有意義な時間となりました。



IV. 2日目

i) 発表準備

午前中はチームで集まり、発表の最終確認を行いました。原稿の読み合わせを何度も反復練習し、お互いの発音や動きについて、少しでも伝わりやすい英語プレゼンになるよう、各チーム時間いっぱい練習を重ねていました。



ii) 学術交流会

《プログラム》

- 1 開会の辞- Park, Jongchan 学部長
- 2 ソウル市立大学校経営大学
学長挨拶 - Park, Gwanhoon 学長
- 3 県立広島大学経営情報学部挨拶
- 4 学生発表
- 5 閉会の辞- Park, Jongchan 学部長

《学生発表 スケジュール》

	所属	Title	発表者
15:10 ~15:30	ソウル	Problems in the K-league and its improvement plan	LEE Seulki, LEE Junsoo CHOI Jihoon, Lim Hyuen Geun
15:35 ~15:55	広島	Noise Suppression of Speech Signal	下野智也
16:00 ~16:20	ソウル	Relationship between Stock Price and Exchange Rate Fluctuation	SEONG Yoonju
16:35 ~16:55	広島	The Corporate Analysis of Convenience Store	川本茉莉, 赤木泰人 下崎咲, 西田英理香
17:00 ~17:20	ソウル	Business Improving Project in Tasty Road	KIM Jinyoung SEOK Yoonsoo
17:25 ~17:45	広島	Setouchi Educational Tour of Sustainable Development	川西千春, 見影大地, 持田沙紀

私たちのチームは『Setouchi Educational Tour of Sustainable Development』として、9月に県立広島大学で最終選考が行われた教育旅行研究大会において提案したプランについて発表しました。

これは、学生がツアー内でヒアリング調査を行うことで、瀬戸内地域の沿岸・島しょ部における地域課題を発掘し、それをふまえた地域の持続的な発展を図るプランを市町村に提案することで、次世代につながる人材の育成と地域振興を図る教育旅行です。

発表では、午前中確認したパワーポイントデータの一部が消えていたり、英語を間違えてしまったりと、悔いの残る結果となりましたが、発表前の最終確認の大切さや、咄嗟の英語力の必要性など、学ぶことが多く良い経験になったと感じています。

また、アンケートやヒアリング調査の分析についてアドバイスをいただき、このプランを見つめ直すだけではなく、より良い研究内容にするためにはどうすべきか考える貴重な時間となりました。



また、ソウル市立大学の学生による発表は流暢な英語で、スライドも簡潔で分かりやすく、質疑応答では、韓国語ではなく英語で返答する学生もあり、大変驚きました。私たちは、発表内容を把握するだけでも苦労しましたが、ソウル市立大学の学生はより深く考察し、時間になるとすぐに挙手して質問を行っており、韓国の学生の英語の堪能さや学問に対する積極性を目の当たりにしました。今回、日本の学生から質問が出来なかったのも、その点については大いに見習い、私たちの英語に対する姿勢を変えていくべきだと考えさせられました。



iii) 歓迎パーティー

発表会の後は、私たちの歓迎パーティーを開いていただきました。韓国の名物プルコギを囲み、韓国のビールやソジュ（焼酎）をいただきながら、発表を行ったソウル市立大学の学生と交流しました。英語でのコミュニケーションを主にしていましたが、仲が深まるにつれ、お互いの国の言語を教えあい、それぞれの文化（伝統からサブカルチャーまで）について意気投合しました。

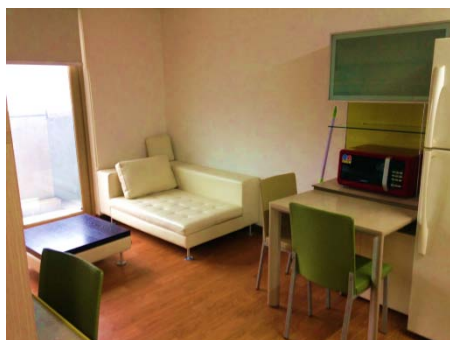
拙い英語で伝わりにくい場面もありましたが、ソウル市立大学の学生は寛容に受け止めてくれたので、より深くコミュニケーションをとりたい、英語も韓国語ももっと知りたいと感ずることができました。



V. 3日目

i) ソウル市立大学を出発

最終日の朝食はみんなで、ソウル市立大学の学生食堂を利用しました。セットでは、少し辛い料理か、あっさりとしたスープを選ぶことが出来、スープにはお米を浸して食べるのが主流であることを学びました。



ソウル市立大学の宿舎はとても過ごしやすい環境でした。生活様式のギャップはあまり感じられませんでした。夜に売店へ降りると、様々な言語を使っている学生や、机に向かい勉強をしている学生の姿も見られました。時間を有効活用することについて、考えさせられた一面であったと感じます。

ii) ソウル市内観光（ソウル駅から徳寿宮まで）

ソウル市立大学を出発し、荷物を預けた後、ソウル駅から徳寿宮までの道を 1 時間ほどかけて散策しました。歴史的建造物である旧ソウル駅や南大門やソウル図書館（旧ソウル市庁舎）、ハングルを作ったとされる世宗大王や韓国の英雄である李舜臣などの銅像を目にすることが出来ました。各観光地では、朴唯新教授が丁寧に解説してくださり、さらなる韓国文化の理解促進につながりました。例えば、崇礼門の天井に描かれている龍の脚が 4 つの理由や、韓国の建造物の構造に関する歴史的な背景についてなど、韓国の歴史や文化に触れることができました。



午後は昼食も兼ねて、LOTTE Mart で買い物をしました。LOTTE Mart とは、韓国の大型ディスカウントストアで、韓国の土産品として人気のあるお菓子やコスメ、特産品など様々な種類の商品を取り扱っています。個人で自由行動していると、韓国のりの販売コーナーで日本人観光客の方をよく見かけました。また、日本と比べて韓国は物価が安いので、気兼ねなく商品を買うことができました。

帰り道では、全員お土産が入った荷物を抱え、観光で長距離を歩いたせいか、椅子に座るなり眠りについていました。今回は、行きはセンター試験により飛行機が遅れ、帰りはデモが行われることで短い時間での観光が余儀なくされたり、多少悪天候にみまわれたりしましたが、学生生活の中でも大変印象に残る貴重な経験ばかりさせていただきました。



VI. 振り返り

今回、私は初の海外ということもあり、英語の必要性を痛感しました。これは、学生や現地の方と交流する場面でも感じたことですが、特に 2 日目の学術交流会において、ソウル市立大学の学生が流暢に英語でプレゼンし、しっかりと聞き入れて質問を積極的に行っている姿を見て、私も英語に対して苦手意識を持ったままでなく、少しずつでも慣れていくべきであると思いました。今回の経験を通して、学問に対する意識と海外に対する興味を今まで以上に持つことができたので、参加して本当に良かったと思います。このような貴重な機会を与えてくださった皆様、そして発表練習などご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。 (川西)

今回の韓国研修は、私の大学生活の中でとりわけ貴重な体験になりました。特に印象に残ったのは、2 日目の研究発表会です。普段英語で話すことに慣れていなかった私たちと比べて、韓国の生徒の発表能力には驚かされました。また、その後の夕食で彼らと交流した時にも、韓国人同士でも積極的に英語で会話しようとする姿勢は、私も見習わなければならないと思いました。このような貴重な機会を与えてくださった皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。 (見影)

この 3 日間は、私にとって非常に貴重な経験となりました。英語でプレゼンテーションをしたり、コミュニケーションをとったりする機会は今まであまりなかったので、自分の思うようにいかない場面も多々あり、今までを反省すると同時に、これからもっと努力していきたいと思いました。また、韓国のまちを歩いたり、学生たちと会話したりするなかで、今まで知らなかった日本以外の文化をたくさん知ることができ、関心が深まりました。今回、このような機会を得ることができ、本当によかったと思っています。ありがとうございました。 (持田)